

## 単元名 いろいろうつして(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 写した形や色の版の組み合わせや、材料による形や色の表し方の違いを理解し、自分が表したいことに合わせて、表し方を工夫することができる。
- (2) 材料や版をいろいろ組み合わせながら、自分が表したいものを考えるとともに、友達と作品を見せ合い、形の組み合わせや、版のよさなどをとらえることができる。
- (3) 紙版をつくったり、版を組み合わせで何枚も刷ったりして表すことを楽しもうとする。

## 標準的な展開例

03080303\_001

【準備等】版画用具一式、画用紙、版画用紙、はさみ、のり、クレヨン、パス、水彩用具一式、版の材料(段ボール、梱包材、毛糸、緩衝材など)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 参考作品を見て、学習活動を知り、版をつくる。</p> <p>○教科書の参考作品をみて、学習活動をつかむ。 ★紙版画を使って、絵をかいてみよう</p> <p>○表してみたい内容や方法を決め、紙版をつくる。</p> <p>○ローラーを使った刷り方を知る。 ・ローラーの使い方 ・インクののせ方</p> <p>3～5 できた版を組み合わせたり、表したい形や色をかき加えたりして作品を完成させる。</p> <p>○版の置き方やインクの付け方を試しながら刷る。 ・同じ版でいくつも刷る。 ・向きを変えて刷る。 ・位置を変えて刷る。 ・インクの色を変えて刷る。</p> <p>○絵の具やクレヨン、パスなどを利用してかき加える。</p> <p>6 友達の作品を鑑賞し、よいところを話し合う。</p> <p>○友達の作品のよさを話し合う。</p>	<p>・教科書3・4上 P.54, 55</p> <p>・教科書の図版や参考作品を活用して、これからの活動の流れをつかませる。</p> <p>・凹凸のあるものにはどんなものがあるかを知らせ、事前に材料を集めておく。(段ボール、梱包材、毛糸、緩衝材など)</p> <p>【評】材料を組み合わせながら、表したいことを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教師が児童を集めて刷り方を示す。</p> <p>・ローラーは回転させると均一にインクがのることを指導する。</p> <p>・版の置き方や画面の構成を考えて、表し方を工夫させる。</p> <p>・同じ版を複数回使うことで、様々な構成ができることを示し、版の置き方にも工夫をさせる。</p> <p>・エプロンを着用するなど、インクで汚れてもいいような配慮をさせる。</p> <p>【評】版の置き方を工夫しながら、自分の表したいことを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】版画の用具に慣れ、材料の特徴に気付き表し方を工夫する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】自分のイメージに合うように、表すことを楽しむ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・友達同士で作品を見合い、お互いのよさを感じ取らせる。</p> <p>・お互いの作品を交換し、作品集を作ってもよい。</p> <p>【評】自分の作品に込めた気持ちや思いを伝えたり、友達の作品のよさや思いを感じ取ったりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

図画工作科におけるプログラミング的思考の育成

紙版画では、どのような表し方をするのか、事前に完成のイメージをもたせる必要がある。表したいことに対して、材料の特徴を生かしながら、どんな材料を、どの順番で使うか、どの色を刷るのかを考えさせ、材料と版を組み合わせながら表現させる。自分が意図する活動を実現するための①分解(表したい作品を、構成する要素に分解する)②置換(要素を形や色に置き換える)③組合せ(形や色の組合せや順番を考える)④検証(組合せを検証して意図に近づける)といったことを論理的に考えていく力を育成する。その他の題材においても、上記の事柄を意識しながら学習活動を工夫し、プログラミング的思考の育成に努めたい。

参考・・・日本文教出版株式会社<http://www.nichibun-g.co.jp/>